

令和6年度

千曲市決算審査等意見書

一 般 会 計
特 別 会 計
基金の運用状況
健全化判断比率

令和7年8月25日

千曲市監査委員

目 次

【千曲市一般会計・特別会計決算審査】

第1	審査の概要	1
第2	審査の結果	1
1	決算の総括	2
(1)	決算規模	2
(2)	決算収支	2
(3)	予算の執行状況	3
2	収納状況	7
(1)	一般会計（市税及び使用料・手数料）	7
(2)	国民健康保険特別会計（国民健康保険税）	7
(3)	介護保険特別会計（介護保険料）	7
(4)	後期高齢者医療特別会計（後期高齢者医療保険料）	7
3	財産の状況	7
(1)	公有財産	7
(2)	基金	8
第3	審査意見	9

【千曲市基金の運用状況審査】

第1	審査の概要	13
第2	審査の結果	13
1	千曲市土地開発基金	14
2	同 奨学基金	14
第3	審査意見	14

【千曲市健全化判断比率審査】

第1	審査の概要	15
第2	審査の結果	15
第3	審査意見	16

【意見書に係る注意事項】

- 1 金額の千円単位の数値は、原則として単位未満を四捨五入した。したがって表の合計額等が一致しない場合がある。
- 2 比率等のパーセント単位の数値は、原則として小数点以下第二位を四捨五入した。また、合計値がある場合等は 100.0 となるよう一部調整した。

千曲市一般会計

千曲市特別会計

令和6年度千曲市一般会計及び特別会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の概要

1 審査の対象

各会計歳入歳出決算

千曲市一般会計歳入歳出決算

同 国民健康保険特別会計歳入歳出決算

同 介護保険特別会計歳入歳出決算

同 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

附属書類

千曲市各会計歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

2 審査の期間

令和7年7月7日から令和7年8月22日

3 審査の手続

審査に付された各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、関係法令に準拠して作成されているかどうかを確かめ、これらの計数の正確性を検証するため、関係諸帳簿その他証拠書類との照合等を実施するとともに、関係職員からの説明を聴取し審査を行った。

第2 審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿その他証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、予算の執行及び関連する事務の処理は、概ね適正に行われているものと認められた。

なお、一般会計及び特別会計の決算の概要は、次のとおりである。

一般会計及び特別会計の決算の概要

1 決算の総括

(1) 決算規模

(単位：円、%)

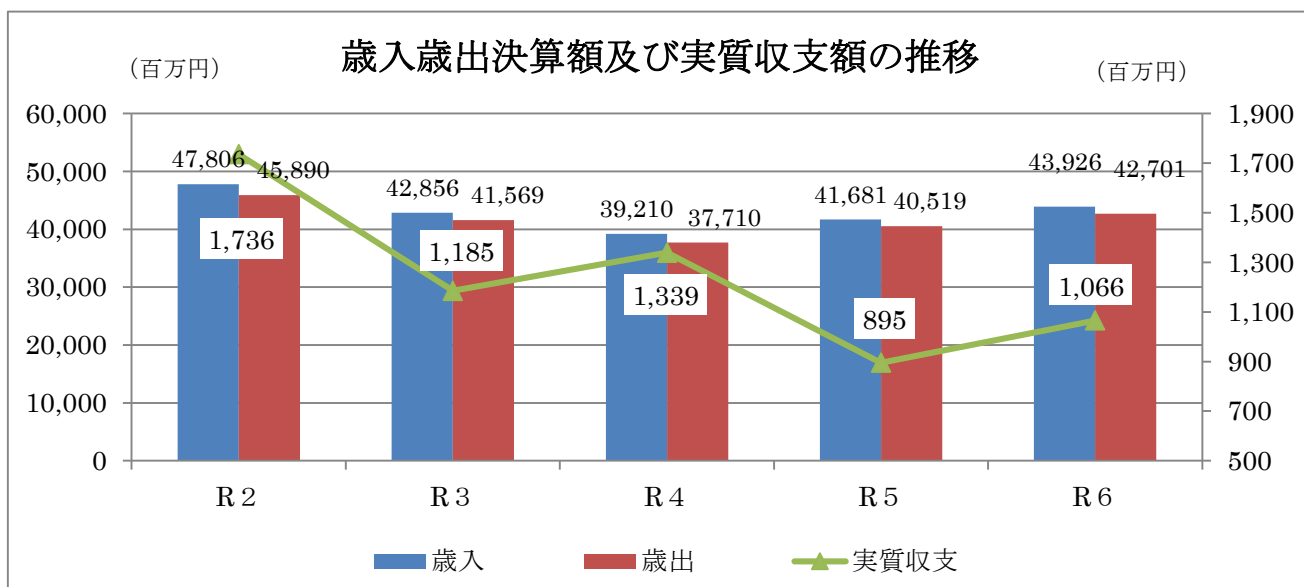
区 分		予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算決算対比	
						歳入	歳出
一般会計		33,526,874,630	32,264,092,832	31,127,169,862	1,136,922,970	96.2	92.8
小 計		33,526,874,630	32,264,092,832	31,127,169,862	1,136,922,970	96.2	92.8
特別会計	国民健康保険	5,400,466,000	5,086,791,479	5,039,866,572	46,924,907	94.2	93.3
	介護保険	5,645,335,000	5,522,473,188	5,507,900,915	14,572,273	97.8	97.6
	後期高齢者	1,049,020,000	1,052,321,977	1,026,253,159	26,068,818	100.3	97.8
小 計		12,094,821,000	11,661,586,644	11,574,020,646	87,565,998	96.4	95.7
合 計		45,621,695,630	43,925,679,476	42,701,190,508	1,224,488,968	96.3	93.6

この決算額のうちには、各会計相互間の繰入額 13 億 6,125 万 789 円が含まれているので、これを控除した純計決算額は、歳入 425 億 6,442 万 8,687 円、歳出 413 億 3,993 万 9,719 円である。

(2) 決算収支

(単位：円)

区 分		歳入歳出差引額 (形式収支) A	翌年度へ繰り越 すべき財源 B	実質収支額 C (A - B)	前年度実質収支額 D	単年度収支額 (C - D)
一般会計		1,136,922,970	158,645,950	978,277,020	850,133,642	128,143,378
小 計		1,136,922,970	158,645,950	978,277,020	850,133,642	128,143,378
特別会計	国民健康保険	46,924,907	0	46,924,907	23,238,074	23,686,833
	介護保険	14,572,273	0	14,572,273	1,030,214	13,542,059
	後期高齢者	26,068,818	0	26,068,818	20,567,466	5,501,352
小 計		87,565,998	0	87,565,998	44,835,754	42,730,244
合 計		1,224,488,968	158,645,950	1,065,843,018	894,969,396	170,873,622



(3) 予算の執行状況

ア 歳入の構成

(単位：千円、%)

区分		令和 6 年度		令和 5 年度		増 減 額	増減率
		決 算 額	構成比	決 算 額	構成比		
自主財源	市税	8,020,544	24.9	7,799,400	26.0	221,144	2.8
	使用料及び手数料	225,655	0.7	236,006	0.8	△ 10,351	△ 4.4
	分担金及び負担金	134,461	0.4	158,760	0.5	△ 24,299	△ 15.3
	財産収入	158,722	0.5	115,767	0.4	42,955	37.1
	その他	4,944,442	15.3	4,582,462	15.3	361,980	7.9
	小計	13,483,824	41.8	12,892,395	43.0	591,429	4.6
依存財源	地方交付税	8,522,911	26.4	8,097,908	27.0	425,003	5.2
	国・県支出金	5,837,314	18.1	5,587,268	18.7	250,046	4.5
	市債	2,039,902	6.3	1,344,270	4.5	695,632	51.7
	その他	2,380,141	7.4	2,032,984	6.8	347,157	17.1
	小計	18,780,268	58.2	17,062,430	57.0	1,717,838	10.1
合計		32,264,092	100.0	29,954,825	100.0	2,309,267	7.7

「その他」の内訳 自主財源：寄附金、繰入金、繰越金、諸収入

依存財源：地方譲与税、利子割交付金などの各種交付金

イ 歳出の構成

(単位：千円、%)

区 分			令和6年度		令和5年度		増 減 額	増減率
			決 算 額	構成比	決 算 額	構成比		
義務的経費	人 件 費		5,062,119	16.2	4,717,436	16.3	344,683	7.3
	扶 助 費		5,592,926	18.0	4,922,173	17.1	670,753	13.6
	公 債 費		3,819,096	12.3	3,590,570	12.4	228,526	6.4
	小 計		14,474,141	46.5	13,230,179	45.8	1,243,962	9.4
経投資的	普 通 建 設 事 業 費		4,282,662	13.7	3,226,993	11.2	1,055,669	32.7
	災 害 復 旧 費		31,605	0.1	30,309	0.1	1,296	4.3
	小 計		4,314,267	13.8	3,257,302	11.3	1,056,965	32.4
その他経費	物 件 費		3,879,448	12.5	3,701,383	12.8	178,065	4.8
	維 持 補 修 費		342,043	1.1	278,299	1.0	63,744	22.9
	補 助 費 等		4,719,043	15.2	4,969,482	17.2	△ 250,439	△ 5.0
	繰 出 金		2,172,186	7.0	2,182,145	7.6	△ 9,959	△ 0.5
	積 立 金		459,139	1.5	451,794	1.6	7,345	1.6
	投資・出資金・貸付金		766,903	2.4	766,859	2.7	44	0.0
	小 計		12,338,762	39.7	12,349,962	42.9	△ 11,200	△ 0.1
合 計			31,127,170	100.0	28,837,443	100.0	2,289,727	7.9

ウ 市債の状況

(単位：千円)

区 分	令和5年度末 現 在 高	令和6年度中		令和6年度末 現 在 高
		発 行 額	償 還 額	
普通会計	28,249,697	2,039,902	3,749,233	26,540,366
合 計	28,249,697	2,039,902	3,749,233	26,540,366

エ 財政分析

(単位：千円、%)

区 分	令和6年度 指 数 等	令和5年度 指 数 等	令和4年度 指 数 等
基準財政収入額 (A)	7,700,611	7,521,656	7,311,479
基準財政需要額 (B)	15,499,920	14,963,326	14,275,496
財政力指数 (A/B) ※1	0.504	0.502	0.514
経常一般財源等 (C)	18,030,303	17,063,938	16,577,633
経常経費充当一般財源等 (D)	17,219,083	16,308,868	15,566,532
経常収支比率 (臨財償含) ※2	95.2	94.9	92.4
標準財政規模 (E)	17,557,968	16,950,189	16,423,253
経常一般財源等比率 (C/E)	102.7	100.7	100.9
実質公債費比率 ※3	11.3	10.7	9.8

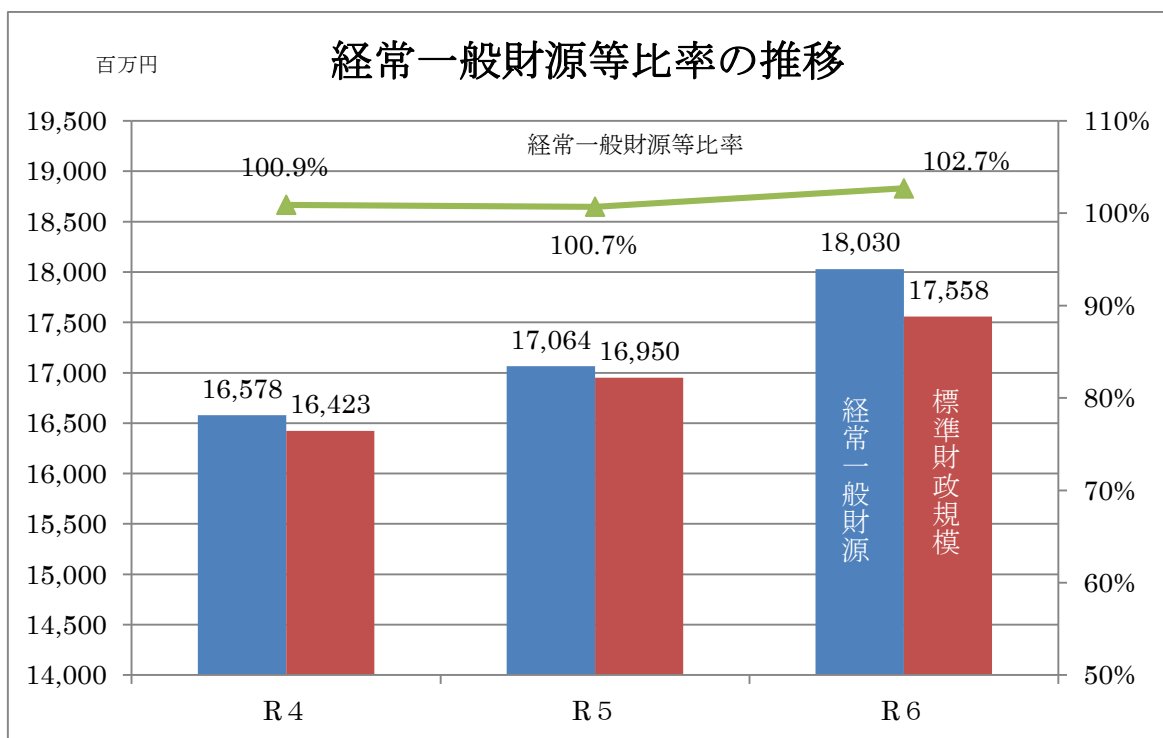
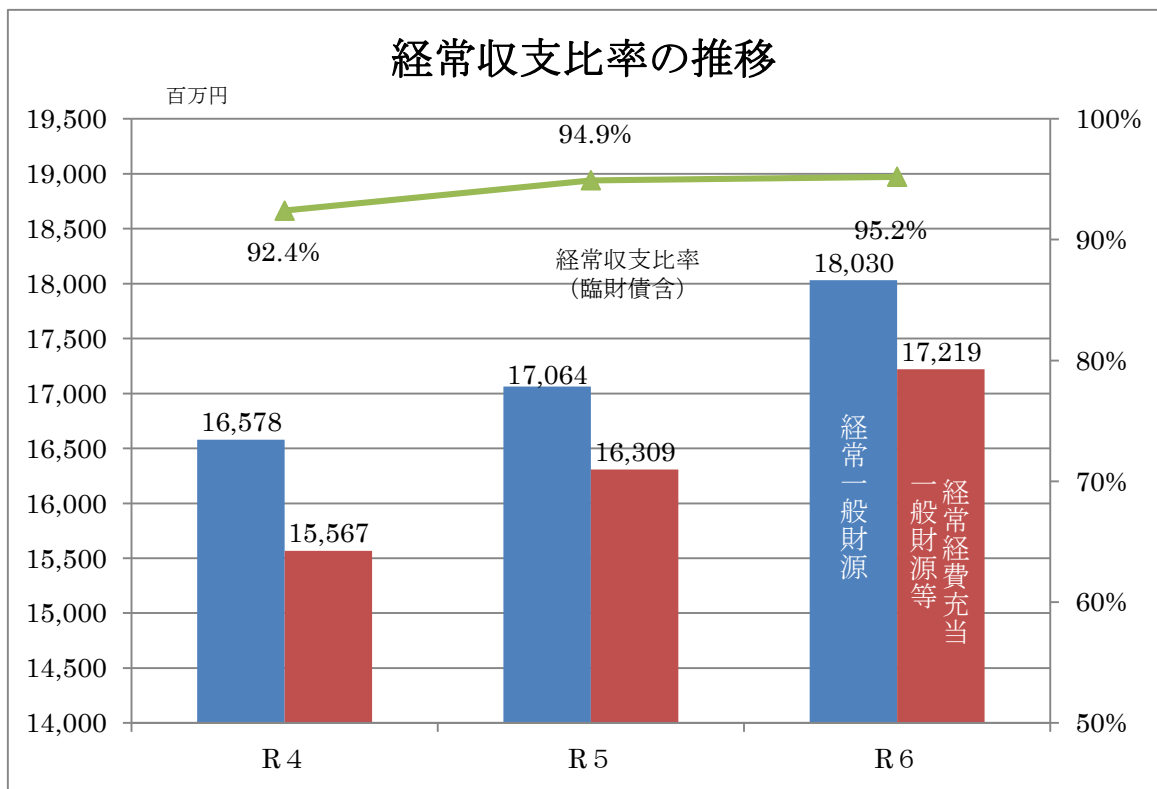
※1 地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。

財政力指数が1を超えた場合、財源に余裕があるとして、不交付団体となる。

※2 地方税、普通交付税のように使途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当されたものの占める割合。

※3 地方公共団体の一般会計の元利償還金額と企業会計等の元利償還金のうち一般会計が実質的に負担する額の合計額の標準財政規模に対する比率（過去3年間の平均値）。

なお、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」における早期健全化基準は、市町村・都道府県とも25%とし、財政再生基準については35%としている。



2 収納状況

(1) 一般会計（市税及び使用料・手数料）

(単位：円、%)

区分	調 定 額 A	収入済額 B	不納欠損等 C	収入未済額 A-B-C	収入率
R 6	8,345,043,822	8,246,199,820	3,847,764	94,996,238	98.8
R 5	8,127,304,513	8,035,406,421	2,807,124	89,090,968	98.9
比較	217,739,309	210,793,399	1,040,640	5,905,270	△ 0.1
増減率	2.7	2.6	37.1	6.6	—

(2) 国民健康保険特別会計（国民健康保険税）

(単位：円、%)

区分	調 定 額 A	収入済額 B	不納欠損等 C	収入未済額 A-B-C	収入率
R 6	965,593,126	922,261,154	606,734	42,725,238	95.5
R 5	960,501,284	921,627,894	116,564	38,756,826	96.0
比較	5,091,842	633,260	490,170	3,968,412	△ 0.5
増減率	0.5	0.1	420.5	10.2	—

(3) 介護保険特別会計（介護保険料）

(単位：円、%)

区分	調 定 額 A	収入済額 B	不納欠損等 C	収入未済額 A-B-C	収入率
R 6	1,189,838,651	1,185,215,976	76,024	4,546,651	99.6
R 5	1,176,932,978	1,177,474,887	△ 4,851,835	4,309,926	100.0
比較	12,905,673	7,741,089	4,927,859	236,725	△ 0.4
増減率	1.1	0.7	△ 101.6	5.5	—

(4) 後期高齢者医療特別会計（後期高齢者医療保険料）

(単位：円、%)

区分	調 定 額 A	収入済額 B	不納欠損等 C	収入未済額 A-B-C	収入率
R 6	813,832,834	812,270,173	△ 452,100	2,014,761	99.8
R 5	708,454,786	708,254,152	△ 498,200	698,834	100.0
比較	105,378,048	104,016,021	46,100	1,315,927	△ 0.2
増減率	14.9	14.7	△ 9.3	188.3	—

3 財産の状況

財産に関する調書に記載された財産の当該年度における異動及び当該年度末現在高の状況は、下記のとおりである。

(1) 公有財産

区 分		単位	令和5年度末 現 在 高	増 減 高	令和6年度末 現 在 高
公 有 財 産	土 地	m ²	21,507,992.07	20,712.94	21,528,705.01
	建 物	m ²	222,003.20	△ 4,381.02	217,622.18
	有価証券	円	52,300,000	0	52,300,000
	出資による権利	円	210,624,327	0	210,624,327

(2) 基金
ア 一般会計

(単位：千円)

区分	基金名		令和5年度末 現在高	増減高	令和6年度末 現在高
積立基金	財政調整基金		4,635,771	△ 311,673	4,324,098
	減債基金		675,762	△ 70,821	604,941
	職員退職手当基金		562,848	△ 107,168	455,680
	公共施設等総合管理基金		1,416,506	△ 420,858	995,648
	文化振興基金		170,794	△ 70,793	100,001
	魅力あるまちづくり基金		2,400,594	△ 90,645	2,309,949
	社会福祉基金		269,918	△ 23,410	246,508
	交通災害遺児等基金		11,452	9	11,461
	地域福祉基金		691,033	0	691,033
	市有林・県有林管理基金		2,735	2	2,737
	ふるさと農村活性化基金		24,954	18	24,972
	高速交通関連施設管理基金		9,242	△ 2,306	6,936
	交通施設整備基金		14,494	11	14,505
	観光施設整備基金		122,392	△ 11,566	110,826
	文教施設整備基金		1,082,474	△ 193,093	889,381
	スポーツ振興基金		1,085,797	23,441	1,109,238
	環境基金		50,312	36	50,348
	千曲市森林づくり基金		20,238	2,798	23,036
	環境整備事業基金		12,842	3,218	16,060
	合 計		13,260,158	△ 1,272,800	11,987,358
定額運用基金	土地開発基金	現 金	399,883	163	400,046
		土 地	250,625	0	250,625
	奨学基金	現 金	78,686	5,995	84,681
		貸付金	26,125	△ 5,852	20,273
	合 計		755,319	306	755,625

イ 特別会計

(単位：千円)

区 分	令和5年度末 現在高	増 減 高	令和6年度末 現在高
千曲市国民健康保険支払準備基金	681,568	477	682,045
千曲市介護保険支払準備基金	1,483,417	48,345	1,531,762

第3 審査意見

【共通事項】

1. 健全な財政運営の維持・推進（継続事項）

令和6年度の一般会計決算は、人件費・公債費等の義務的経費が大幅に増加したものの、固定資産税をはじめとする市税の堅調な伸びに支えられ、実質収支は前年度を上回る9.7億円の黒字となりました。

一方で、財政の硬直度を示す経常収支比率は、義務的経費の増加に伴い95.2%と前年に引き続いての上昇、標準財政規模に占める公債費等の割合を示す実質公債費率も11.3%（3か年平均）と上昇傾向が続きました。

また、基金は全体で21億円余の取崩を行った結果、前年度に引き続き残高の減少が続き前年度比で12億円余の減となりました。

今後、企業誘致や転入者の増加により市税は堅調に推移すると見込まれますが、社会保障費等の圧縮困難な経費の増加傾向が続くことから、財政運営はより厳しさを増すものと予想されます。

行政改革大綱や公共施設等総合管理計画の着実な推進をはじめとする不断の事業見直しや後年度の財政負担を十分考慮した施策の優先順位の見極めなどを通じて、引き続き財政運営に万全を期すようお願いいたします。

とりわけ当市では、「総合運動公園整備事業」や「地域防災拠点・道の駅整備事業」、「屋代地区開発事業」などの大型事業が着手あるいは予定されています。これらの事業の実施に当たっては、国の交付金等の特定財源の十分な確保やPFI等の新しい手法を効果的に取り入れるなど将来の財政負担を極力軽減するよう一層の努力を求めます。

加えて、現下の財政状況について全職員が共通認識を持つとともに市議会とも十分な情報共有を図りながら市民に丁寧に説明し理解していただくようお願いいたします。

2. 公共施設等総合管理計画の推進（継続事項）

公共施設等総合管理計画の推進は、将来の財政状況を踏まえた持続可能な市民サービスの維持・発展を図るうえで極めて重要な取り組みです。各課ではこれを踏まえて、所管する各施設に係る個別施設計画を策定し、総合管理計画における当面の中期目標である令和12年度(2030年度)までの3%削減（平成26年度(2014年度)比）に向け尽力されていることと思います。

公共施設の統廃合や譲渡は地元との調整をはじめ長期間を要する案件であり、毎年度着実な取り組みを続けることが計画の達成には不可欠です。

特に維持管理に多額の経費を要する文化施設や温泉施設などは、施設の性格上地元や利用者への影響が大きいため早期に今後の方向性を示し、意見・要望を伺いながら具体的なプランを検討する段階に移行する必要があります。

また、統合方針が出ている学校給食センターや施設の在り方を検討としている市民プールなどについても早急に検討を進めてください。

なお、昨年度の定期監査で指摘させていただいた学校プールの今後の在り方については、市民プールとの関連も含め総合的な観点から検討いただくようお願いいたします。

3. 繰越制度の適切な運用（継続事項）

繰越制度の適切な運用については、かねてより監査意見で指摘をしてきたところですが、今年度の決算においても若干の改善はみられるものの、繰越件数・繰越金額とも大幅な減少とはなっていません。

今回の監査でも、工事の設計段階で関係者との協議が不足したまま十分な工期を設定せずに発注し、結果として繰越で事業を執行したと推察される案件もあり是正が必要です。

繰越制度は、財政法における「会計年度独立の原則」の例外措置であり、不経済・非効率な執行を避ける意味で設けられています。発注後の予期せぬ事情変更や国の補正予算計上時期による制約等、やむなく繰越せざるを得ない場合を除き、安易な事業の繰越は厳に慎むよう引き続き適切な予算計上・事業執行をお願いします。

4. 全庁的な DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進（継続事項）

千曲市のマイナンバーカード普及率は令和 6 年度末で 79%と県内 19 市の中で最上位となり、担当部署の積極的な取り組み成果として大いに評価できます。マイナンバーカードシステムを活用することで、証明書のコンビニ交付など市民サービスの向上が図られるほか窓口や給付金に係る事務量の削減が期待されるため、今後とも積極的な活用努めてください。

今後マイナンバーカード及び電子証明書については、更新手続きにより問い合わせや窓口来訪者の増加が見込まれるため、申請書支援システムなどを有効に使い混乱が生じないように対策をお願いします。

行政分野における DX の推進は、業務の効率化に留まらず業務プロセスの改善や市民サービスの向上など多くの効果が期待できます。情報システムの安定的な運用に取り組むとともに、デジタル技術を積極的に活用できる人材の採用と育成を積極的に進めていただくようお願いします。

5. 建設工事等における変更契約の縮減

今年度の監査においても、請負額や工期延長の変更が多数見受けられました。施工段階での現場状況や関係機関・地元区等との協議により、請負額の変更や工期延長が生じることはやむを得ない面もありますが、変更に伴い各種の手続きの事務負担が増加する点も考慮が必要です。

特に工期延長については、コストの増加や市民サービス提供の遅延にもつながる場合もあり留意が必要です。

変更の理由は様々であり、やむを得ないケースも認められましたが、発注前の準備段階での関係者との協議や設計内容の精度を上げることで未然に避けられたケースもあると推察されます。

言うまでもなく「工期内竣工」が原則ですので、綿密な事前調査、市民や関係機関との事前協議等を十分に行い、工事着手後は計画と実績の工程を常に比較するなど工程管理に留意して工事が円滑に進められるようお願いします。

【個別事項】

1. 公共交通運行事業（継続事項）

〔総合政策課〕

高齢者等交通弱者の日常生活の移動手段の確保を目的に運行されている「循環バス」及び「デマンド型乗合タクシー」は、新型コロナの鎮静化や運行ダイヤ・停留所の見直しにより、利用者数が順調に増加しつつあり、特に「デマンド型乗合タクシー」は市民の間に徐々に定着しつつあると考えます。

一方で、1 便当たりの利用者数が少ないことや昨今の運転手不足、燃料代の高騰による運行経費の増嵩に伴い、市の負担額は前年度比で約 2 千万円の増、総額で 1.2 億円弱まで増加し大きな財政負担となっています。

今後は、運行ダイヤ等をニーズに沿って柔軟に見直すとともに利用促進を積極的に PR する他、受益者負担の原則に基づき現行 65 歳以上とされている優遇料金制度の見直しなどに取り組み、持続可能な交通体系を構築する必要があります。

また、中学校部活動の地域移行（展開）で大きな課題となっている移動手段の確保や福祉関係の移動支援サービスにも「デマンド型乗合タクシー」等を活用し最大限の事業効果を発揮できるよう、関係部局が連携し取り組んでいただくようお願いします。

2. 姨捨の棚田について（継続事項）

〔観光課、農林課、歴史文化財センター〕

姨捨の棚田は、国の名勝指定、国の重要文化的景観選定等に加え、令和 2 年に「月見」をテーマとする日本遺産の構成文化財の一つとして認定され、文化・観光・農地等の多面的な価値を有する千曲市を代表する貴重な財産となっています。

一方、多面的な性格を有することから棚田の維持・保全・情報発信等における関係部署が多岐にわたり、これまで十分な連携が取れているとは言い難いのが現状です。また、棚田の特徴として官民連携の下様々な主体が参画することで維持が図られてきましたが、特に棚田を耕作することにより維持・保全を担ってきた農業者の高齢化が深刻であり早急に今後の在り方を見出していく必要があります。

このような現状を踏まえ、将来の在り方について担当者レベルでの検討が開始されたとのことですが、今後は棚田に参画している様々な主体に加え外部の有識者も交えて、将来の在り方を本格的に検討する機会が必要と考えますので、積極的な取り組みをお願いします。

3. 温泉施設管理運営事業（継続事項）

〔市民生活課〕

市内 5 か所の温泉入浴施設（余熱利用施設含む）については、施設特有の高額な維持補修費の負担などにより現状のまま維持し続けることは極めて困難であり、昨今の人件費や燃料費の高騰により指定管理料等が増加傾向にあることも踏まえて、施設の在り方について早急に方向性を見出すことや、当面の改善策として利用料金の見直しを行うことを要請する監査意見を昨年度提出しました。

本年 6 月議会において利用料金の上限額を引き上げる条例改正が成立し、各指定管理者において経営改善に向けた前向きな取り組みが進むことが期待され、大いに評価するところです。

公共施設等総合管理計画では、これら温泉施設について「民間企業への譲渡・売却等、今後の施設の在り方を検討」としています。料金改定後の利用動向に注視しつつ、施設ごとの将来的な対処策について早急に検討することをお願いします。

4. 文化財の活用について（継続事項）

〔歴史文化財センター〕

千曲市内の歴史文化財のうち、稲荷山地区の重要伝統的建造物群は平成 27 年度から修理・修景事業が継続的に実施され、武水別神社神官松田邸は大規模な修復事業の後令和 5 年から博物館として一般公開されています。また屋代小学校旧本館については、本年度から 2 か年にわたり 1.9 億円をかけて耐震改修工事が行われる予定となっています。

いずれの施設も文化財としての価値を維持し保存を図ることで千曲市の魅力向上や地域の誇りとしての役割を期待されていますが、今後は積極的な情報発信を通じて内外の多くの皆様に来訪いただく取り組みが必要です。

特に屋代小学校旧本館については、学校敷地内にあることから年間を通じた一般公開のハードルが高く、主に地元施設としての活用を予定しているとのことですが、フィルムコミッションを通じたロケ地としての活用や期間限定のイベントを実施するなど児童の安全を最優先にしつつも最大限の活用を図るよう検討をお願いします。

また、松田邸については来館者数がオープンした令和 5 年度からは減少しました。七夕イベントなど来館者数を増加させる創意工夫を今後とも継続して行うようお願いします。

本年度の組織改正（文化観光スポーツ部）の趣旨を生かせるよう、従来の歴史文化財の維持保存に加え、部局内での連携を通じて観光面での活用に積極的に取り組むようお願いします。

5. 子どもの居場所対策について（継続事項）

〔生涯学習課、こども未来課〕

以前より指摘をしている放課後等における子どもの居場所に関わる事業は、こども未来課において児童館・児童センター及び児童クラブ事業が、生涯学習課では放課後子ども教室や地域未来塾が市内の一部小中学校区でそれぞれ実施されています。生涯学習課所管の事業は開始時からの経過もありますが、市内の一部地域のみで実施されており地域格差という観点から好ましくありません。また、支援スタッフの確保に苦慮している面もあり、事業継続に当たっての大きな課題となっています。組織再編を機に教育委員会内で連携を取り、今後の方向性を見出すよう引き続き検討をお願いします。

千曲市基金の運用状況

令和 6 年度千曲市基金の運用状況審査意見

第 1 審査の概要

1 審査の対象

千曲市土地開発基金運用状況

同 奨学基金運用状況

2 審査の期間

令和 7 年 7 月 7 日から令和 7 年 8 月 22 日

3 審査の手続

審査に付された基金の運用状況を示す書類について、その計数の正確性を検証するため、関係帳簿等との照合等の審査手続を実施したほか、基金の運用状況の妥当性を検証するため、関係書類を審査した。

第 2 審査の結果

審査に付された基金の運用状況を示す書類の計数は、関係帳簿等と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、基金の運用状況は妥当であると認められた。

なお、審査の結果の詳細は、次のとおりである。

1 千曲市土地開発基金

この基金は、公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要のある土地を、あらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図るために設置されたもので、当年度の運用の状況は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分	令和5年度末 現 在 高	増	減	令和6年度末 現 在 高	増 減 額
現 金	399,883,084	163,581	0	400,046,665	163,581
土 地	250,624,943	0	0	250,624,943	0
合 計	650,508,027	163,581	0	650,671,608	163,581

増加額の内訳：増加額 163,581 円は基金運用利子である

2 千曲市奨学基金

この基金は、育英事業の効果的推進を図るため、経済的理由により修学が困難な者に対して、奨学金を貸与することを目的として設置されたもので、当年度の運用の状況は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分	令和5年度末 現 在 高	増	減	令和6年度末 現 在 高	増 減 額
現 金	78,686,057	7,362,802	1,368,000	84,680,859	5,994,802
貸付金	26,125,000	1,368,000	7,220,000	20,273,000	△ 5,852,000
合 計	104,811,057	8,730,802	8,588,000	104,953,859	142,802

当該年度の貸付けは3人であった。

増加額 142,802 円は、寄附と基金運用利子である。

第3 審査意見

特に土地開発基金については、設置趣旨に基づいて適切な運用に努めてください。

千曲市健全化判断比率

令和6年度千曲市健全化判断比率審査意見

第1 審査の概要

1 審査の対象

令和6年度決算における千曲市健全化判断比率

2 審査の期間

令和7年7月7日から令和7年8月22日

3 審査の手続き

審査は、提出された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

第2 審査の結果

審査に付された下記の健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。

記

健全化判断比率の推移

(単位：%)

区 分	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	早期健全化 基準
実 質 赤 字 比 率 (※1)	—	—	—	—	—	12.62
連 結 実 質 赤 字 比 率 (※2)	—	—	—	—	—	17.62
実 質 公 債 費 比 率 (※3)	8.0	9.1	9.8	10.7	11.3	25.0
将 来 負 担 比 率 (※4)	47.2	29.6	12.9	5.3	4.7	350.0

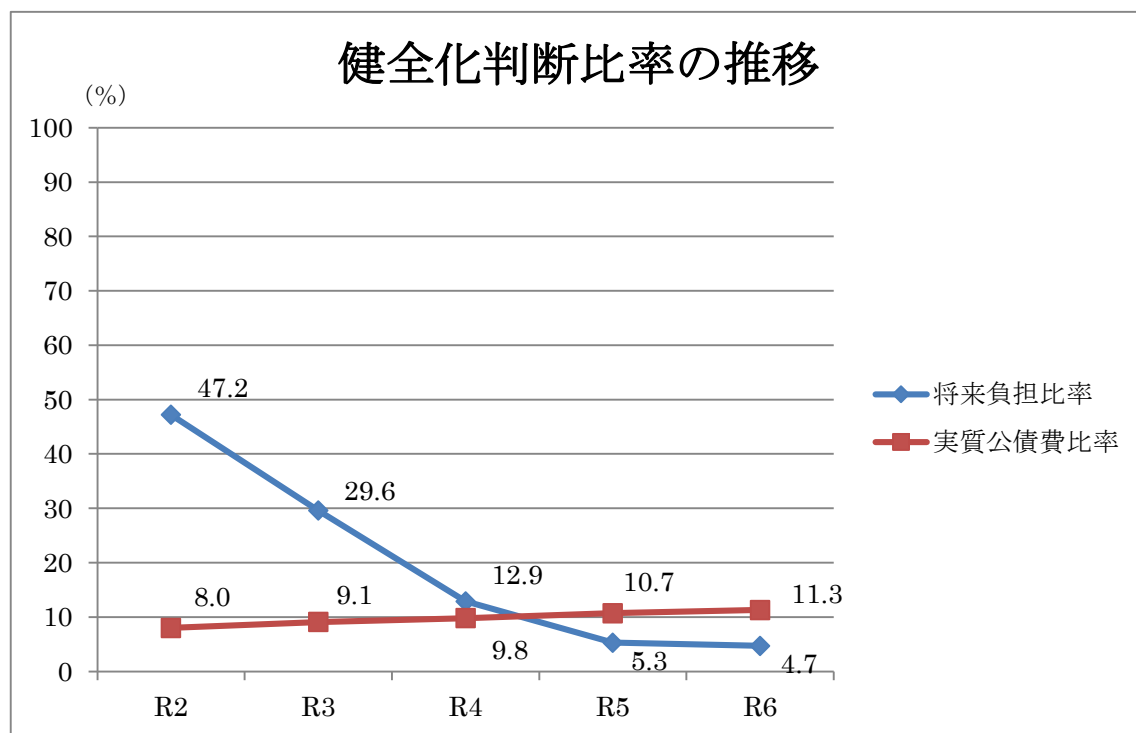
実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、赤字額がないので「—」と表示している

(※1) 地方公共団体の「一般会計」等に生じている赤字の大きさをその地方公共団体の標準財政規模に対する割合で表したもの

(※2) 上水道や下水道など公営企業を含む「地方公共団体の全会計」に生じている赤字の大きさを、標準財政規模に対する割合で表したもの

(※3) 地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさをその地方公共団体の標準財政規模に対する割合で表したもの（3か年平均）

(※4) 地方公共団体の借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさをその地方公共団体の標準財政規模に対する割合で表したもの



第3 審査意見

実質公債費率は公債費（地方債の元利償還金）が増加したことにより、前年度比 0.6 ポイント増の 11.3%となりました。一方で、将来負担比率は合併特例債などの償還が進み地方債現在高が減少したことにより前年度比 0.6 ポイント減の 4.7%となりました。

公債費については、「中期財政試算」（R7～R11）によれば一旦ピークを越えたものの、今後 30 億円台前半で推移すると試算されていることから、実質公債費率は上昇傾向になると見込まれます。また将来負担比率については地方債現在高の減少により一定の改善が見込まれますが、大型事業の実施に伴い上昇に転じる可能性も見込まれます。

現状では、両指標とも国の定める「早期健全化基準」を下回る良好な状況にありますが、計画的かつ抑制的な地方債の発行と市税等の財源の涵養と確保により、今後とも健全な財政運営を維持するよう努めて下さい。